

丸岡南中学校区 小中連携の取組

丸岡南中学校

明章小学校

磯部小学校

鳴鹿小学校

丸岡南中学校区では、9年間を見通した教育のあり方について、小学校と中学校が連携して、取り組んでいます。「交流」「学習」「生徒指導」「教育相談」の4つの部会に教職員全員が所属し、中学校区全体の教育力向上を目指します。

平成30年度 重点目標 基本的な生活・学習習慣の確立

～早寝・早起き・朝ご飯、あいさつ、家庭学習、授業態度など～

交流部会

・自己肯定感の高い子どもや、共同して活動に取り組める子どもを育成するため現在小中間で行われている交流をより充実させる。
・学校が楽しいと感じ、みんなで何かをすることが楽しいと感じる子どもを増やしたい。

「母校での交流」
・中学生が母校で挨拶運動をする機会を設定する。
・母校での職場体験にて、中学生が学校行事について紹介する時間をもち、多くの小学生が中学校での開行事に参加し、交流できるようにする。

「中学校での交流」
・小学生の中学校体験入学時に中学生と小学生の交流の場を設定する。

学習部会

・中学校での家庭学習習慣の確立(宿題内容の高度化・日によつての量の違い・学級担任制から教科担任制によるギャップ)
・中学校授業での学習意欲の低下(話を聞く・発表の減少)

・小学校での家庭学習のすすめ(学習のしおり)の統一化
・中学校から小学校6年生に向けての宿題・学習に関する情報提供
・お互いの授業を参観する機会の設定

生徒指導部会

・挨拶はするが、言われてからする児童が多い。
・LINEなどSNSでのいじめが心配される。
・インターネット機器の利用時間が長い児童・生徒がいる。
・ヘルメットの所持率が低く、交通事故が心配される。

「挨拶運動の実施」
・丸岡南中学校が行っている8日、18日、28日にできるだけ合わせて、教師と児童・生徒で実施する。学校前で、小中連携挨拶運動の旗を使って行う。
＜スマートルールの啓蒙＞
・スマートルールの取り組み方に関するアンケートを生徒・児童、保護者に行い、結果の分析を行う。その後、指導・啓蒙を行うための便りを配布する。2学期に同じアンケートを実施し、取り組みの効果をみる。
＜ヘルメット着用率向上＞
・PTAなどの団体に着用推進の協力を依頼する。

教育相談部会

・子どもや保護者が相談しやすい体制が十分ではない。休み時間も忙しく、子どもが相談に来る時間や体制が作れない。子どもと相談したり、向き合ったりする時間の確保が必要。
・子どもにとって学校が安全で安心と感じる体制も不十分。

「学校に相談しやすい体制作り」
・スクールカウンセラーの活用(面談日を保護者会に合わせ、お知らせする)、無担の先生を使った保護者との面談など、保護者が相談できる体制づくり。

「個別相談や子に応じた指導の充実」
・必要に応じて、学校が楽しいかを問うアンケートを実施し、アンケート後、担任との面談時間を確保。
・アセスメントシートの作成と有効活用。

現状と課題

重点取組内容